

南医療生活協同組合の近未来構想」をつくりあげる、定例・公開の

第9回

12 / 15

10万人会議

に、あなたもごいっしょませんか

毎月第3土曜 午後2時～

コープ健診・フィットネスセンター3F

名古屋市緑区大高町平子36 南生協病院施設内

今月のテーマ：

- ① 第1～8回の振り返り
- ② まちづくり交流会～住みよいまちづくりとは？南医療生協の枠をこえて考えましょう～
 - ・ 地域のつながりづくり実践報告
「たまり場・いっぷく茶屋の取り組み」片平学区・区政協力委員長 杉野様
「南大高町内会とともにすすめるまちづくり」南大高町・町内会長 加藤様
 - ・ グループで交流

第8回10万人会議報告

～老健不採択でしたが・・・。“介護難民を出さない”“看とりが出来る”“健康長寿”まちづくりをご一緒に～

11月17日105名の参加で開催されました。南医療生協の介護事業所（のんびり村と小規模多機能ホームみんなのざいしょ）の取り組みが報告された後、諏訪南生協病院副院長より報告がありました。

「名古屋市への老健施設申請の結果が残念ながら不採択であったけれど、10万人会議で出された知恵は無駄ではなく、介護難民を出さない、看とりの出来る、健康長寿ですごせるまちづくりに活かしましょう。本日のグループ討議では、まちづくりにひとりひとりが関われる事について交流しましょう。」と呼びかけられました。

10に分かれたグループワークで出されたアイディア（右参照）を交流しました。山口副理事長のまとめで会を締めくくりました。

「介護難民を出さない、看とりの出来る、健康長寿ですごせるまちづくり」ひとりひとりの出来ること

- ・ 民生委員が頼る「勝手に永世・民生委員」に全員がなりあいさつ、マップづくりを行ないます。
- ・ 若者も老人も独りぼっちにしない。たまり場をつくってあいさつ、自己紹介、雑談の出来る近所づきあい。それが介護難民を出さないことに。
- ・ 男性が孤立しないために「おじさんのおばさん化計画」を進める。外出する場合は「健康の友」の配布も。
- ・ 「歩いて10分、集まって10人」の班を沢山つくる。
- ・ 自分の最期を考えておく。家族も覚悟が必要。
- ・ 2025年に高齢化社会のピークに向けて人材育成が必要。保育園、小中学校と交流して、小さいときから仕事体験。中学生向けに認知症サポーター養成講座。
- ・ ささえあいシートを活用。民生委員さんと連携。町内の行事にも出て来れない人へのアプローチ

などなど